

令和5年度 学校評価 自己評価書(2学期)

1 学校の重点目標

- (1) 確かな学力の育成 (2) 豊かな心の育成 (3) たくましい心と体の育成 (4) 活力ある学校経営
(5) 学びの教育環境づくり (6) 信頼される学校・教師 (7) 家庭や地域との連携

2 評価結果と改善策【4段階評価:(最高4)】

重点目標	具体的な実践項目の評価	1学期	2学期	3学期	評価結果と改善策
1 確かな学力の育成	「分かる」「できる」「楽しい」授業の構築（ICT機器の積極的・効果的活用）	2.78	3.67	0.00	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の授業でのタブレットの活用が進んでいる。1年生も文字入力ができるようになっている。教師同士がタブレットのよりよい活用法について積極的に情報交換を行うことで、教育効果を高める更なる活用法について研究していく。 ○ 本校の今年度の研究テーマは、「主体的・対話的で深い学びを実現できる授業作り」である。算数科以外の他教科等でも一人一台端末の効果的な活用を図っていく。 ○ 校内研究授業(10/25 第4学年 算数科)を実施し、1月に1年生の算数も予定している。冬季休業中などを利用して、授業者だけでなく全職員が十分な教材研究を行い、研究授業に臨むようにする。シンキングツールの活用の工夫を深めたい。 ○ 1学期に小・中連携研修会の会場校になり、6年生の算数授業提供、10月に桜島地区小学校の交流学习を本校で行った。
	「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践（言語活動の充実）	2.89	3.33	0.00	
	「何ができるようになったのか」の把握と明確化（桜洲小基礎学力スタンダードの活用）	2.67	3.00	0.00	
	仲間づくりが根底にある学び合いによる学力向上の追究	2.89	3.50	0.00	
	職員研修の充実（校内・校外研修会への積極的参加と報告書での全体還元、UDの研究・実践、複式指導の研究）	2.90	3.00	0.00	
	幼・保・小・中一貫教育の実践（幼・保・小連携、小・中連携）	2.75	2.83	0.00	
2 豊かな心の育成	生徒指導の充実（いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応、望ましい人間関係づくり、命の教育）※SST・SGE、「学校たのしいーと」の活用）	3.44	3.33	0.00	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめに関するアンケートや「学校楽しいーと」を基に面談等を行いながら、いじめの早期発見・対応に努める。また、それらの調査票を適切に保管しておく。 ○ 人権集会や人権推進委員の先生を招いて学習、にこにこ集会、学級での人権宣言づくりを通して、人権教育に取り組んだ。今後もMomを実践し、温かい学級作りに取り組んでいく。 ○ 個別の指導計画・個別の教育支援計画は、随時、加除修正を加えながら、児童の成長に合わせて、その時点の実態を正しく反映させるようにする。
	心に届く道德教育の推進	3.22	3.33	0.00	
	読書指導の推進（読書量・質の向上、親子読書の啓発）	3.00	3.43	0.00	
	人権尊重の精神を基盤とした学級経営（Momの実践）	3.50	4.00	0.00	
	特別支援教育の充実（支援体制の整備と理解促進、就学指導の充実）	2.78	3.50	0.00	
	自尊感情の高揚につながる「折れないしなやかな心（レジリエンス）」の育成	3.25	3.67	0.00	
3 たくましい心と体の育成	自己実現を図る特別活動の推進（キャリア教育・環境教育・読書指導との関連）	2.78	3.50	0.00	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持久走大会(12/1)、なわとび大会(2/10)に向け、目標をもたせ計画的に練習に取り組ませる。また、教科体育時の補強運動として、継続的に取り組ませる。 ○ 桜島総合防災訓練に参加し、児童も教師も安全や防災の意識が高まった。「自分の命は自分で守る」ことを基本とし、非常時に自分で考え・判断し・行動できるよう「考えさせる避難訓練」を実施する。 ○ 手洗い・うがい・換気の徹底など、基本的な感染症予防に今後も取り組んでいく。
	学校体育の充実（一校一運動の継続実施、運動量を増加させる体育学習の推進）	3.22	3.57	0.00	
	保健指導の充実（「あはははう運動」による生活リズムの確立、むし歯治療・メディアルール設定の啓発）	3.00	3.33	0.00	
	安全指導の充実（安全教育の計画的な実施、KYTの実施）	3.22	3.67	0.00	
	食に関する指導の充実（各教科等での指導、家庭での正しい食習慣の育成、食物アレルギーの把握と対応）	2.75	3.60	0.00	
	生命尊重を基盤とした防火・防災（減災）教育の充実（考えさせる避難訓練）	3.11	3.67	0.00	
病気や感染症の予防に関する教育の充実と実践の日常化	3.11	3.50	0.00		

20		組織的・協働的な学校運営（協働する職員態勢の確立）	2.89	2.86	0.00	○ 休んでいる職員の校務分掌を職員が分担しており、各職員の負担が増えている。職員の連携・協働に努める。 ○ 「1Action 1Try」の取組状況について定期的に点検し、自己の働き方改革について振り返る場を設けることで、業務改善に繋げる。
21	活力ある学校の創造	学校評価を生かした学校教育活動の改善（D-CAP）	3.13	3.29	0.00	
22		特色ある教育活動の推進（地域の素材・教育力を生かした教育活動の推進）	2.70	3.14	0.00	
23		職員の健康保持と職場環境の整備（働き方改革による業務改善の取組） ※1Action1Tryの取組充実	2.70	2.71	0.00	
24	学びの教育環境づくり	清掃指導の充実（無言作業、ゴミのない学校環境）	2.67	3.17	0.00	○ 一昨年度から3年連続「県学校環境緑化コンクール」において、優良賞をいただいた。今後も教児一体となり、「花と緑いっぱい」の学校づくりに取り組んでいく。 ○ 2年後の閉校に向け、備品点検や資料の整頓を実施している。 ○ 毎月の安全点検を確実に実施するとともに、事後対応を行うことで、安全な学校環境を保つことができるように努めていく。
25		心を育てる学習環境の整備（学校図書館の充実、花と緑いっぱい学校づくり）	2.80	3.17	0.00	
26		施設・設備等の計画的な整備	2.67	3.00	0.00	
27		どの児童にも優しい教育環境づくり	3.00	3.17	0.00	
28		青少年赤十字の理念の理解と活動の推進（ボランティア活動の充実）	3.10	3.17	0.00	
29	信頼される学校・教師	専門性を磨く自己研鑽（教科指導力・専門的力量的の向上、総合的人間力の育成、学級経営等の充実）	3.00	3.43	0.00	○ 「かごしま教員育成指標」などを活用しながら、自身のキャリアステージに応じたスキル等を確認し、自己研鑽に努めるようにする。 ○ 「桜洲小学校からは絶対に不祥事は起こさない」を合い言葉に、定期的にセルフチェックを行うことで、学校職員としての立場を自覚し、自分の言動に責任をもてるようにする。
30		自覚と矜持の心で臨む服務規律の厳正確保（参加型研修の充実、信頼される学校づくり推進委員会の活用）	2.67	3.57	0.00	
31		業務改善に向けた協働性の発揮（意識化・簡素化・効率化による取組、定時退校日の設定）	2.80	2.86	0.00	
32	家庭や地域、関係機関との連携	学校情報の積極的発信（学校便り、HP、ブログ、各種会議等での発信）と地域行事への積極的参加	3.00	3.14	0.00	○ 3学期以降の学習内容を確認し、冬季休業中に、学校支援ボランティアコーディネーターに学習支援の依頼をする。 ○ 学級通信や各種便り等での情報発信も工夫されており、ホームページにも内容を記載している。教育相談（10/17～10/18）を実施した。今年度は希望者が多かった。 ○ 「あはははう運動」（朝ご飯・早寝・早起き・歯みがき・運動）や「おうしゅう運動」の取組状況を学級PTA等で繰り返し確認し、学校・家庭で連携しながら推進に努める。
33		学校支援ボランティア事業活動の積極的推進	3.00	3.00	0.00	
34		「信頼される学校づくり推進委員会（不祥事根絶委員会）との意見交流・協議	2.63	2.80	0.00	
35		校区コミュニティ協議会との連携（コミュニティスクール・学校統合見本構想の確立）	3.00	3.00	0.00	
36		PTA活動の活性化（組織改正と実践、学級PTAの充実、「おうしゅう運動」の取組）	2.88	3.14	0.00	
37		PTA・学校行事への協力と参加	2.90	3.14	0.00	
38		家庭の教育力の向上（家庭教育の充実、基本的生活習慣の確立）	3.10	3.43	0.00	
39		学級通信や各種便り等での情報発信と教育相談による情報交換・指導の充実	3.11	3.83	0.00	
40	公的機関や各種団体との情報交換等による連携の推進	2.89	3.43	0.00		
			2.95	3.30	0.00	

3 次学期に向けての取組

- 学校支援ボランティアをはじめとした地域人材の積極的活用
- 学習内容の定着（桜洲小基礎学力スタンダードの活用）
- タブレット等の効果的な活用による指導法の改善
- 幼・保・小連携、小・中連携の実践